

事業所名

こどもくらぶキジムナー

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7

年

3月

2日

法人（事業所）理念		「この子らを世の光に」を理念にその子らしい社会生活・地域生活が送る事が出来る。		
支援方針		・自立へ向けて（保育園や、こども園への移行を目標とし、身辺自立の確立、集団参加の力を育む）個々の発達の特性を理解して丁寧な療育に取り組んでいます。		
営業時間		営業日：月～金曜日 （土・日曜日、こどもの日、年末年始お休み） サービス提供時間10:00～16:30/祝日10:00～16:00	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	○定期的な心身の把握として毎日の検温の測定を行います。通所時に顔色や、様子を観察し保護者との連携を図り安定した生活のリズムを作っていく。 ○身辺自立（衣服の着脱・排泄の自立・）子どもの障がいの特性や発達の過程に配慮し、きめ細やかな観察を行う。 ○基本的な生活の獲得（食事・病気や災害への備え・危険な場所や遊び方の注意。		
	運動・感覚	○音楽に合わせた体を動かす遊びや運動を行います。○微細・粗大運動をバランスよく取り組んでいます。 ○近隣の公園活動を取り入れ身体を思いっきり動かすことで体力を向上させる。（健康や、運動能力、コミュニケーション能力、想像力、集中力など様々な力を育みます。） ○自己肯定感を育みます（やりたい思いを大事に、出来ないの事の訓練ではなく、楽しい遊びを通して、内なる能力を引き出せるよう丁寧に関わっています。）		
	認知・行動	○日付や、天気、時間の把握による感覚、数の認識を形成します。 ○集団での勝敗のある活動参加への促し、適切な行動形成を図ります。 ○季節の変化への興味など感性・形成を構築するため、調理や外出を行います。（公園・散歩・公共施設・おやつ作り・課外活動（公共交通機関使った外出、買い物など）取り入れ体験から学んでいく。		
	言語 コミュニケーション	○言語聴覚士の元、職員による言葉のトレーニングを行い言語発達を支援しコミュニケーション能力の向上を図ります○学習への興味に向けて（椅子に座る習慣・ひらがな・すうじ・鉛筆の持ち方・絵本の読み聞かせ・音読・塗り絵）など設けています。○活動のルールを文字や絵を掲示し視覚支援を行います。○毎日、終わりの会で振り返りを行い、職員や友達の職員や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみを持って聞いたり、話したりする。したり、見たり、感じたり考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現しコミュニケーション能力の向上を図る）		
	人間関係 社会性	○個々の個性を大切に人と関わる心地よさの獲得。 ○地域イベントを通じ交流の機会を設けます。 ○他者との関わり、相手の気持ちや相手が喜ぶ行動、言葉を一緒に考えられる場面の設定。 ○遊びを通じて集団で行動する場面を設け、ルールのある遊びの中で勝敗にこだわらずお友達と協力する面白さの体験と獲得。		
家族支援		・保護者様の不安や悩みに寄り添いながら、相談、及び面談の機会を設けます。 ・発達状況や特性への理解に向けた相談支援を行う。	移行支援	・学校との子どもの状態や支援内容などのすり合わせをしたり情報共有を行いながら連携、支援を行っています。 ・ライフスタイルの切り替えを見据え、将来的な意向に向けた話し合いなど情提供を行う。
地域支援・地域連携		・地域内での過ごした様子や出来事については、保護者各機関へも情報共有致します。 ・避難訓練を通して、地域資源の確認及び交流など積極的に参加する。	職員の質の向上	・毎日のミーティングを行い、全職員が利用児童に対して、共通理解し同様の支援ができるようにしています。 ・定期的に研修の機会を設けています。
主な行事等		(R6.年間行事) 4月入園進級祝い・5月にこいのぼり掲揚・6月の交通安全・7月七夕・避難訓練・8月プール遊び・イベント・9月敬老の日製作・10月のハロウィン・11月勤労感謝・12月クリスマス会・1月避難訓練・2月豆まき・3月ひな祭り・春の遠足 ※月ごとの活動（運動/レクリエーション・公園あそび・職員による言葉の友達と・スイミング教室・専門講師によるヨーガ・季節の製作		